

第 43 回 日本鼻科学会 (平成 16 年 9 月 23 日・24 日・25 日 京王プラザホテル)

会長 洲崎 春海 (昭和大)

特別講演およびそれに準ずる講演	シンポジウム	パネル	テーマ指定演題	一般演題数 (テーマ指定演題を含む)
<p>ランチョンレクチャー I アレルギー性鼻炎治療—現状と将来展望— 司会：馬場駿吉 (名市大) 演者：馬場廣太郎 (獨協医大)</p>	<p>サテライトシンポジウム 鼻副鼻腔と下気道：関連性から臨床的意義 司会： 黒野祐一 (鹿 大), Ruby Pawankar (日医大)</p>			
<p>ランチョンレクチャー II 臨床現場から診た鼻・副鼻腔癌の特徴—上顎洞癌と鼻腔癌、及び上顎洞癌と篩骨洞癌との違いを中心にして— 司会：木田亮紀 (日 大) 演者：西 渡 (埼玉県立がんセンター)</p>	<p>1. 疫学からみた鼻副鼻腔と下気道疾患の関連性 松根彰志 (鹿 大) 2. 鼻副鼻腔と下気道疾患における線維芽細胞の特性と関連性 野中 学 (日医大) 3. 下気道病変を合併する慢性副鼻腔炎の臨床像と病態 大氣誠道 (昭和大)</p>			
<p>ランチョンレクチャー III アレルギー性鼻炎と QOL 司会：今野昭義 (脳神経疾患研究所附属総合南東北病院) 演者：大久保公裕 (日医大)</p>	<p>4. 慢性副鼻腔炎と気管支喘息合併例に対する手術療法 出島健司 (京都第二赤十字病院)</p>			
<p>ランチョンレクチャー IV 気道分泌及び粘液線毛輸送系の細胞生物学 司会：大山 勝 (鹿 大) 演者：玉置 淳 (東女医大第一内科)</p>	<p>シンポジウム I 鼻茸の病態と治療に関する最新の知見 司会： 市村恵一 (自治医大), 間島雄一 (三重大) 1. 鼻茸の成因と生物学的特性 藤枝重治 (福井大) 2. 鼻茸におけるステロイドの効果 工藤睦男 (昭和大) 3. 感作動物モデルにおける鼻茸形成 瀬嶋尊之 (自治医大) 4. 鼻茸の手術療法 竹内万彦 (三重大) 5. アスピリン喘息の病態と治療 谷口正実 (国立相模原病院臨床研究センター気管支喘息研究室)</p>			
<p>招待講演 FESS : Complications, Safety and Failures 司会：森山 寛 (慈 大) 演者：Kevin J. Kane (The Nose and Sinus Clinic, Australia)</p>				

<p>特別講演 I</p> <p>Surgical Anatomy of the Nose : Update</p> <p>司会：夜陣紘治（広島大）</p> <p>演者：Jeung-Gweon Lee （Yonsei University, Korea）</p> <p>特別講演 II</p> <p>嗅細胞の匂い情報変換にかかわる細胞内分子ネットワーク</p> <p>司会：古川 侃（金沢大）</p> <p>演者：倉橋 隆（阪大大学院生命機能研究科）</p> <p>第 11 回日本鼻科学会賞受賞記念講演</p> <p>副鼻腔粘膜上皮における転写因子活性が局所サイトカイン・ネットワークに及ぼす影響</p> <p>司会：竹中 洋（大阪医大）</p> <p>演者：竹野幸夫（広島大）</p>	<p>シンポジウム II</p> <p>鼻副鼻腔腫瘍診療の最前線</p> <p>司会：</p> <p>中島 格（久留米大）， 岸本誠司（東医歯大）</p> <p>1.上顎扁平上皮癌における分子腫瘍学的診断 -オーダーメイド治療への応用-</p> <p>坂東伸幸（旭川医大）</p> <p>2.内視鏡下の鼻・副鼻腔腫瘍手術</p> <p>鈴木元彦（名市大）</p> <p>3.ナビゲーションシステムを用いた鼻副鼻腔腫瘍手術</p> <p>角田篤信（東医歯大頭頸部外科）</p> <p>4.副鼻腔悪性腫瘍に対する選択的動注化学療法</p> <p>宮嶋義巳（久留米大）</p> <p>5.鼻副鼻腔悪性腫瘍に対する強度変調放射線治療(IMRT)</p> <p>幡野和男（千葉県がんセンター放射線治療部）</p>			
---	--	--	--	--